



2026年4月27日

各位

会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ
代表者名 代表取締役社長 殖栗 道郎
(コード番号：7327 東証プライム)
問合せ先 経営企画部長 三島 康人
電話番号 (025) 224 - 7111 (大代表)

「2026年3月期通期業績予想の上方修正」および 「期末配当予想の修正(増配)」に関するお知らせ

当社は、2025年9月26日に公表した「2026年3月期通期業績予想」および「2026年3月期の配当予想」について、下記の通り上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期業績予想の上方修正

(1) 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益※
前回発表予想(A)	百万円 52,300	百万円 36,000	円 銭 137.19
今回修正予想(B)	61,100	42,100	160.59
増減額(B-A)	8,800	6,100	
増減率(%)	16.8	16.9	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	41,112	29,349	111.97

※ 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施し、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。これらの株式分割に伴い、1株当たり当期純利益については、前連結会計年度(2025年3月期)の期首に普通株式1株につき6株の割合で株式分割を実施したものと仮定して算定しております。

(参考) 第四北越銀行単体の2026年3月期通期業績予想数値の修正

	コア業務純益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 49,900	百万円 47,200	百万円 32,900
今回修正予想(B)	59,600	56,700	38,500
増減額(B-A)	9,700	9,500	5,600
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	39,743	35,127	25,242

(2) 修正の理由

グループ一体でのコンサルティング機能の発揮により法人向け役務収益を中心とした非金利収益が好調に推移したことに加え、貸出金が増加したことにより資金利益が予想を上回ったことから、2026年3月期(通期)の連結業績予想を上方修正するものであります。

2. 2026年3月期 配当予想の修正（増配）

通期業績予想の修正を踏まえ、当社の株主還元方針（参考参照）に鑑み、2025年9月26日に公表しました2026年3月期の配当予想を下表の通り修正（増配）いたします。

具体的には、期末配当予想を前回予想比1株当たり9円増配し36円といたします。

なお、本件増配により、2026年3月期の通期業績予想に対する配当性向は40.0%となります。

期末配当（1株当たり）予想の修正（増配）

	第2四半期末(中間)	期 末	年 間
前回予想 (株式分割前換算)	—	27円00銭 ^(※2) (81円00銭)	— ^(※3) (162円00銭)
今回修正予想 (株式分割前換算)	—	36円00銭 ^(※2) (108円00銭)	— ^(※3) (189円00銭)
当期実績	81円00銭 ^(※1)	—	—
前期実績 (2025年3月期)	56円00銭 ^(※4)	75円00銭	131円00銭 ^(※4)

※ 1. 2025年9月30日を基準日とする中間配当金は、2025年10月1日付の株式分割(1:3)前の株式数を基準とします。

※ 2. 2026年3月31日を基準日とする期末配当金は、2025年10月1日付の株式分割(1:3)後の株式数を基準とします。

※ 3. 年間配当金（予想）につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、上表において「—」と表示し、株式分割前換算での配当金のみを表示しております。

※ 4. 当社は、2024年10月1日付で株式分割(1:2)を行っております。2025年3月期の中間配当金（実績）及び年間配当金（実績）については当該株式分割後の金額を記載しています。

なお、上表に記載の配当を全て2025年10月1日付の株式分割(1:3)後で換算した際の配当は以下のとおりです。

	第2四半期末(中間)	期 末	年 間
前回予想	—	27円00銭	54円00銭
今回修正予想	—	36円00銭	63円00銭
当期実績	27円00銭	—	—
前期実績 (2025年3月期)	18円66銭	25円00銭	43円66銭

※本資料に記載されている業績予想は、本資料の公表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(参考) 当社の株主還元方針

当社は、金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

具体的には、1株当たり配当金は原則として累進的とし、配当性向は40%程度とします。自己株式の取得は業績や市場環境等を総合的に考慮したうえで機動的に実施します。

なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に10%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。

以上